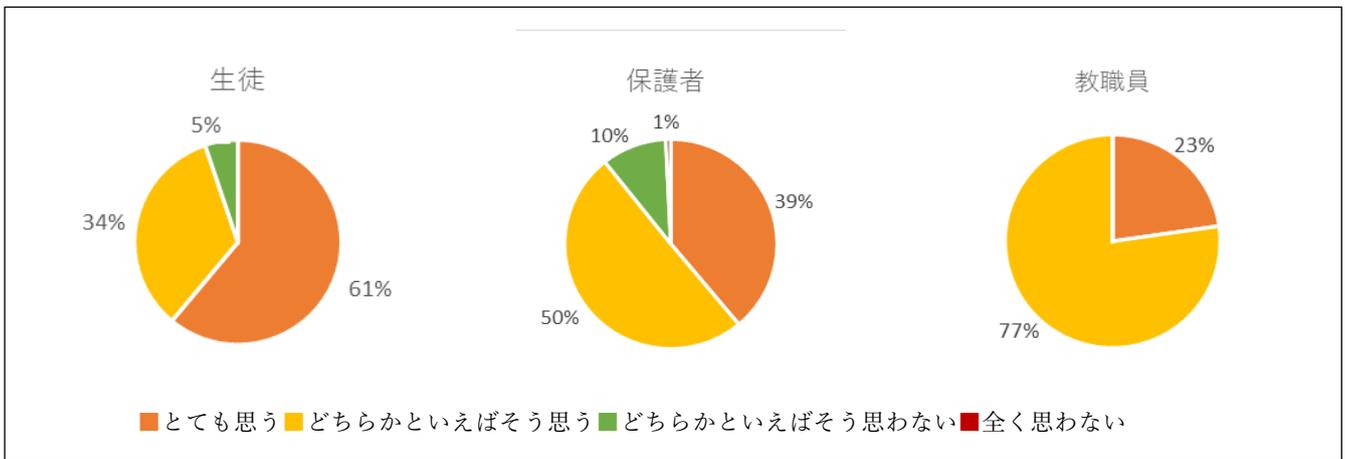
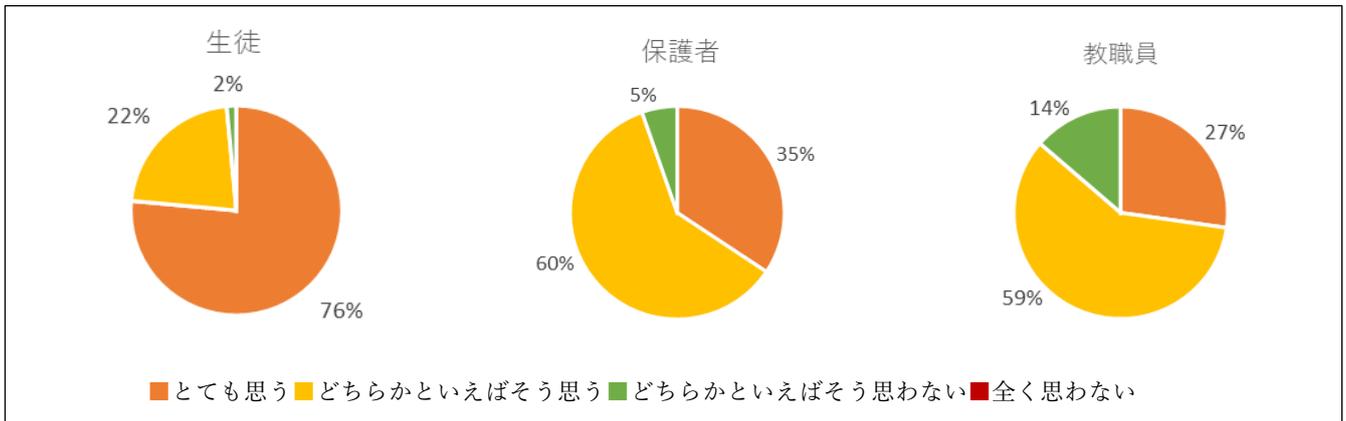


1 子どもは安定した心で登校し、目標をもって充実した生活を送っている。



いずれも、肯定的回答が大半を占め、昨年度と同様、落ち着いて学校生活に取り組んでいる様子が見える結果となった。特に生徒の肯定的回答が高く、日々の学校生活への充実感が広がっている。今後も、家庭と学校が連携しながら、安心して登校でき、目標に向かって主体的に過ごせる環境づくりをさらに進めていく。

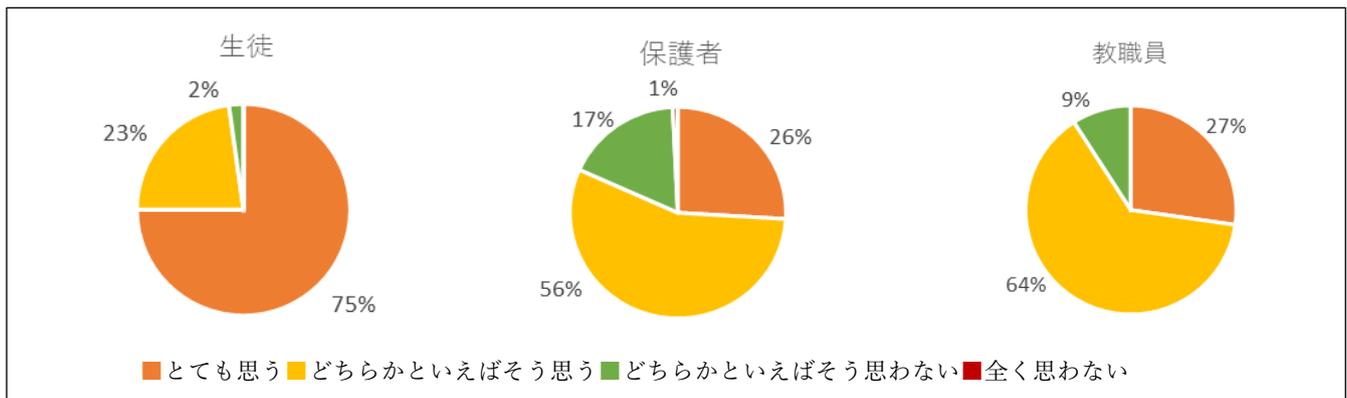
2 子どもは、交通安全を守って自転車に乗っている。



生徒の肯定的回答は高く、自転車の乗り方への自信が見える結果となった。一方、保護者・教職員は、肯定が9割前後あるものの、慎重な見方もあり、日常の指導で気になる場面も示されている。今後も、あいさつ運動や「0のつく日」の交通安全指導を生かし、講話やモニター掲示等を通して、基本的なルールを継続して意識化できるよう取り組んでいく。

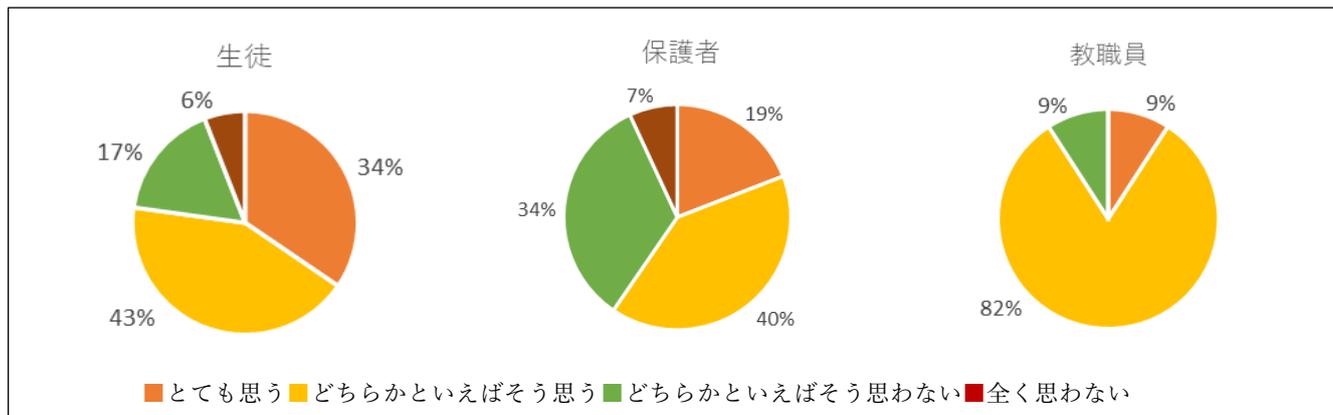
3 子どもは、タブレットの正しい使い方を守り、学習や課題提出に取り組んでいる。

(教職員：生徒に情報モラルを意識させながら、授業や課題提出に ICT 機器を効果的に活用している)



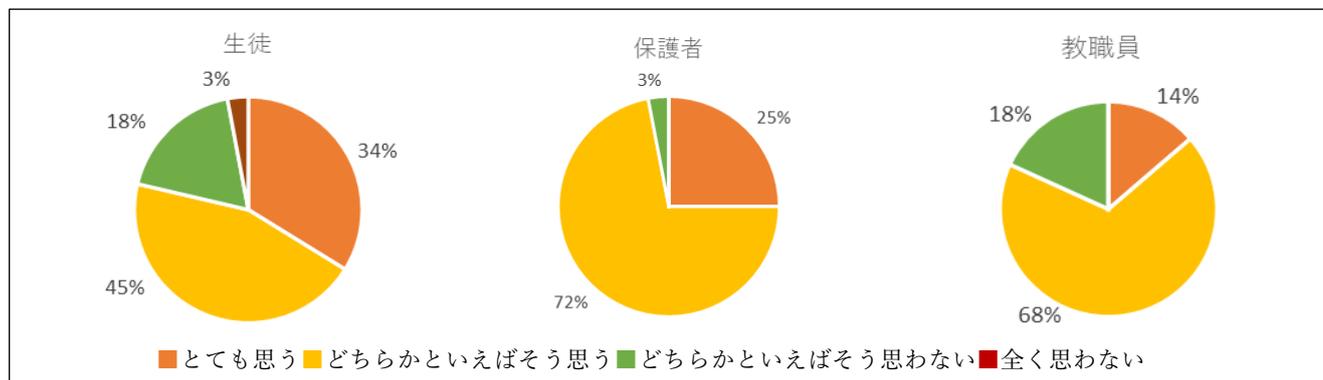
生徒の肯定的回答は高く、保護者・教職員も8～9割が肯定しており、タブレットの学習活用の定着が見える。一方、家庭内では、時間帯や目的が曖昧になりやすいとの声もあり、個人端末の扱いに差が見られる。今後も、授業や課題提出で培った情報モラルを家庭でのスマートフォン・PC利用にもつなげられるよう、学校と家庭が協力して適切な使い方を促していく。

4 時間を有効に使い、計画的かつ意欲的に家庭学習に取り組んでいる。



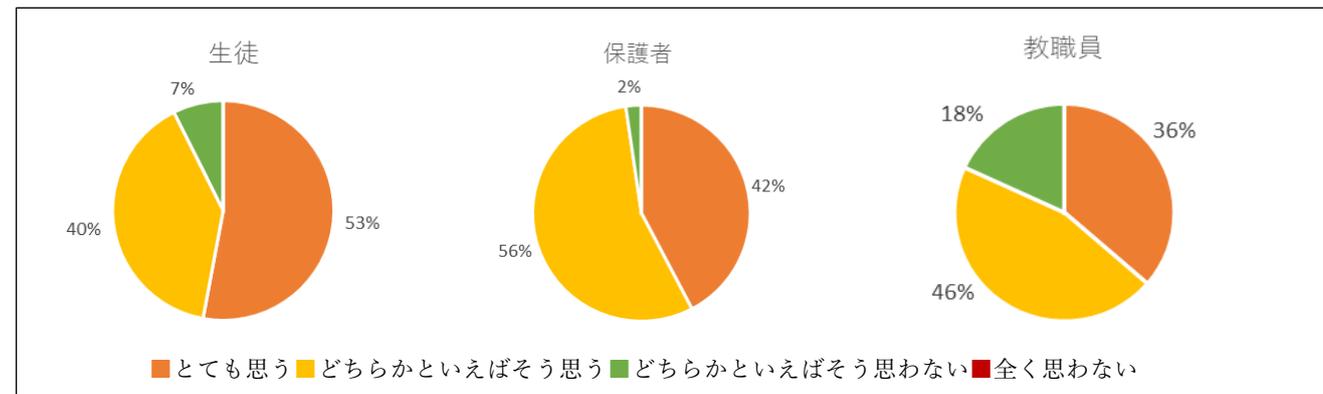
生徒は7割超が肯定し、一定の計画性をもって家庭学習に取り組んでいる様子が見えてくる。一方、保護者は肯定が6割弱でばらつきが大きく、家庭での学習習慣に課題を感じる声もある。教職員は9割以上が肯定しており、今後も学校と家庭が連携して、生徒が計画的に学習を進められるよう支援していく。

5 子どもは、学校生活を通して自分自身を見つめたり、将来の生き方・考え方などを考えたりしている。 (教職員：各教科で、キャリア教育を意識した教育活動を行っている)



生徒・保護者ともに肯定的回答が昨年度より増え、学校生活の中で将来について考える機会が広がっていることがうかがえる。教職員も8割以上が肯定しており、各教科のキャリア教育が定着しつつある。職場体験や教科の学びを生かし、生徒が将来像をより具体的に描けるよう支援を継続していく。

6 子どもは、人との関わりや体験活動を、豊かな心を育てる機会にしようと意識している。 (教職員：人との関わりや体験活動を積極的に取り入れ、豊かな心の育成に努めている)

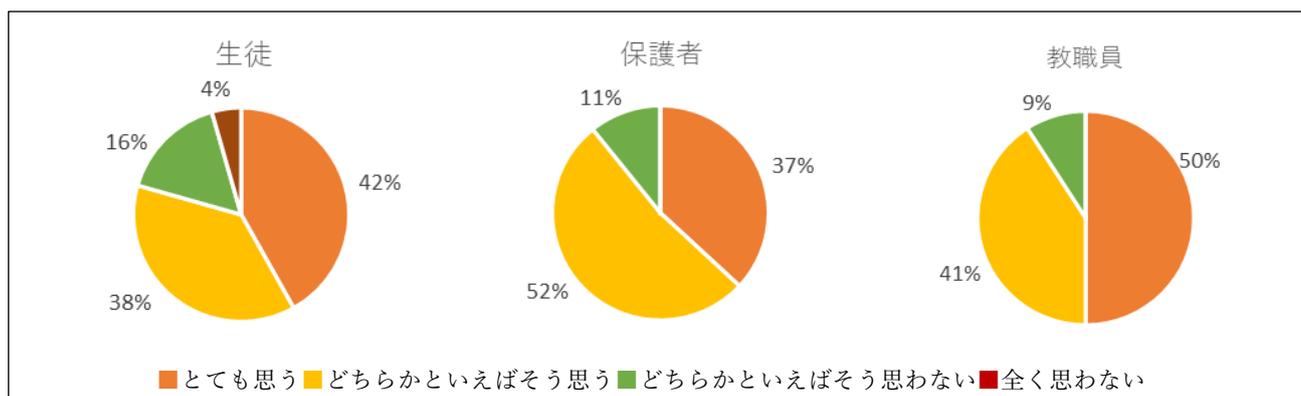


生徒は昨年度同様、9割以上が肯定し、体験活動を心の成長につなげようとする姿勢が続いている。一方、保護者・教職員の肯定はやや減少し、効果を実感しにくい面もうかがえる。今後も体験活動を丁寧に積み重ね、事前事後指導を充実させつつ、保護者とも生徒の成長を共有できるよう工夫していく。

7 相談や悩みについて、相談できる教師がいる。

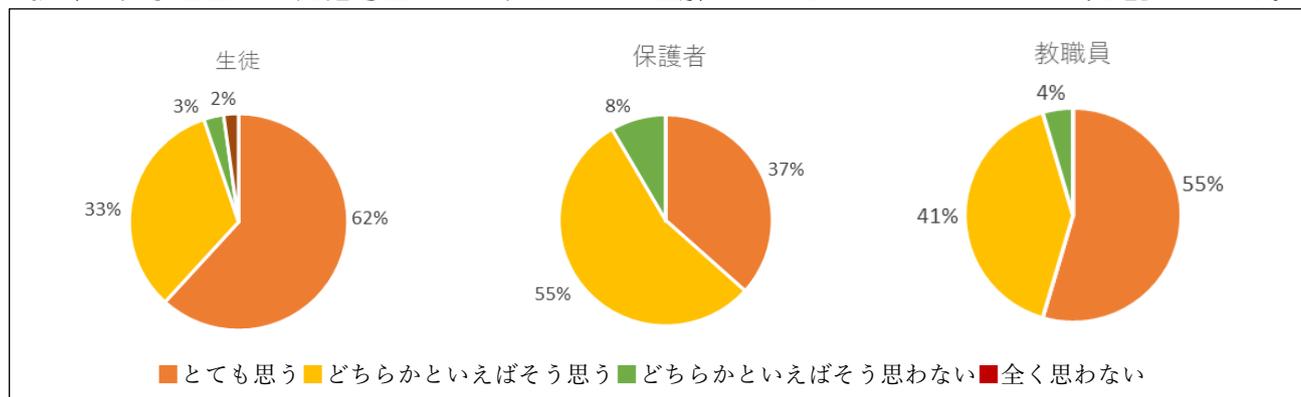
（教職員：悩みを抱える生徒の相談にのったり、保護者と積極的にコミュニケーションを図ったりしている）

（保護者：学校には子どもの悩みを相談できる教師がおり、積極的にコミュニケーションを図ることができる）



生徒の肯定的回答は昨年度よりやや減少したが、保護者はわずかに増え、相談面での安心感に変化が見られた。教職員は約9割が肯定しており、生徒や保護者に寄り添う姿勢が引き続き示されている。今後も、日常の関わりを通して相談しやすい雰囲気づくりを進め、生徒・保護者双方に安心感が届くよう努めていく。

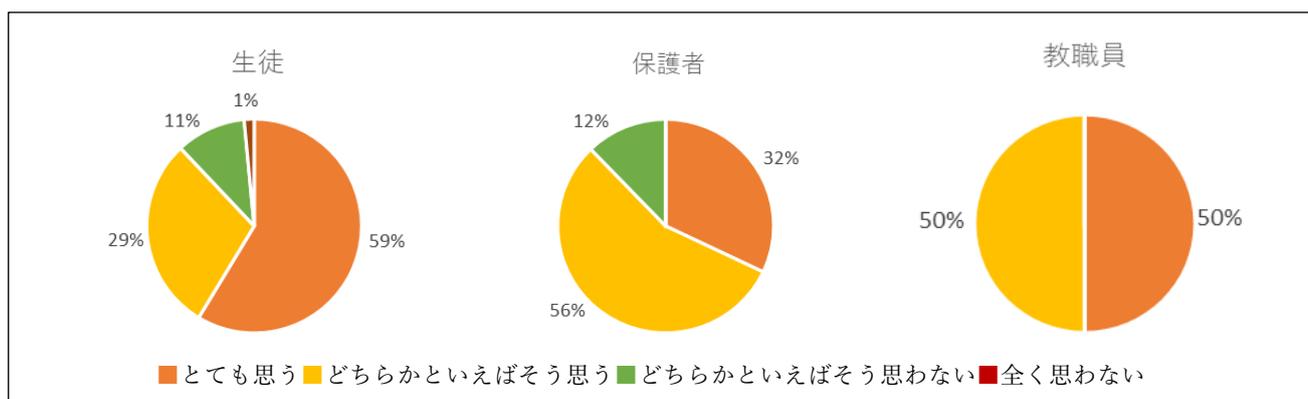
8 教師は、学習面・生徒指導面ともに、子どもが理解しているかどうかについて気を配っている。



生徒は「とても思う」が昨年度より増え、教師の配慮を実感する声広がっている。保護者の肯定的回答も上昇し、学習面・生活面での配慮が伝わっていることがうかがえる。

教職員は引き続き高い肯定を示している。今後も、日常の観察や生活アンケートの活用、情報共有を通して、生徒理解に基づく指導を進めていく。

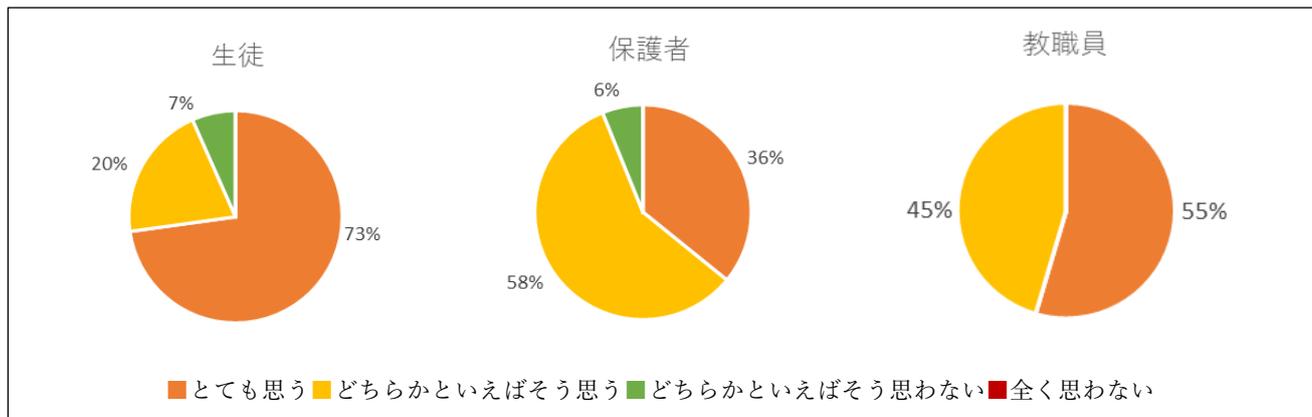
9 教師は、生徒を公平に評価し、個に応じた声かけをしている。



昨年度に比べると、生徒・保護者ともに、「どちらかといえばそう思う」「全く思わない」がやや減少した。教師は引き続き肯定が高く、「公平」や「個への配慮」を重視した関わりを継続している。

今後も、生徒・保護者双方の感じ方を丁寧に受け止めながら、個を意識し、誰もが安心して通える学校づくりに努めていく。

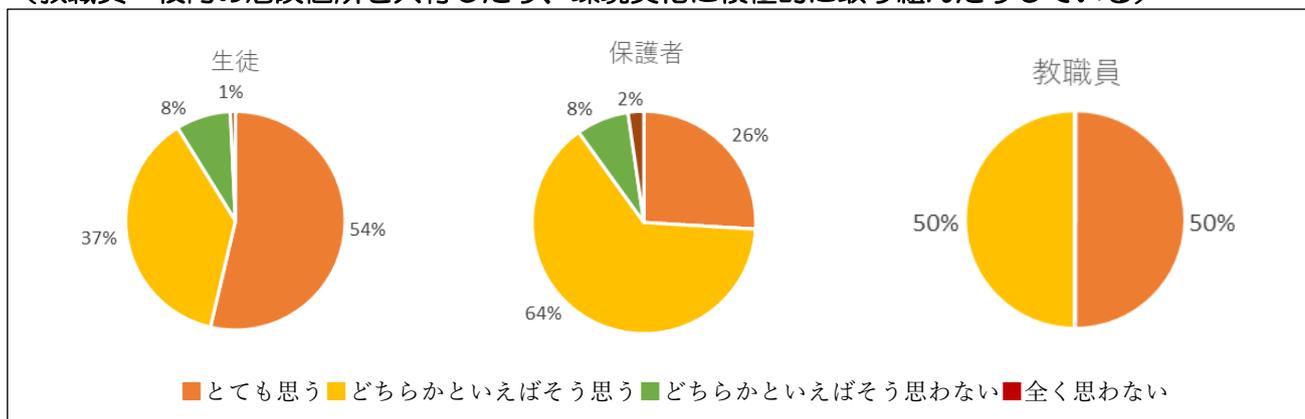
10 学校は、いじめのない協力的な学校（学級）づくりに努めている。



生徒は、「とても思う」が昨年度より大きく増え、いじめのない学校づくりへの信頼が高まっている。保護者も高い肯定的回答を維持しており、学校の取組が一定程度伝わっていることがうかがえる。今後もチーム学校で連携を強め、日々の指導と取組を積極的に展開しながら、安心して過ごせる学校（学級）づくりを力強く推進していく。

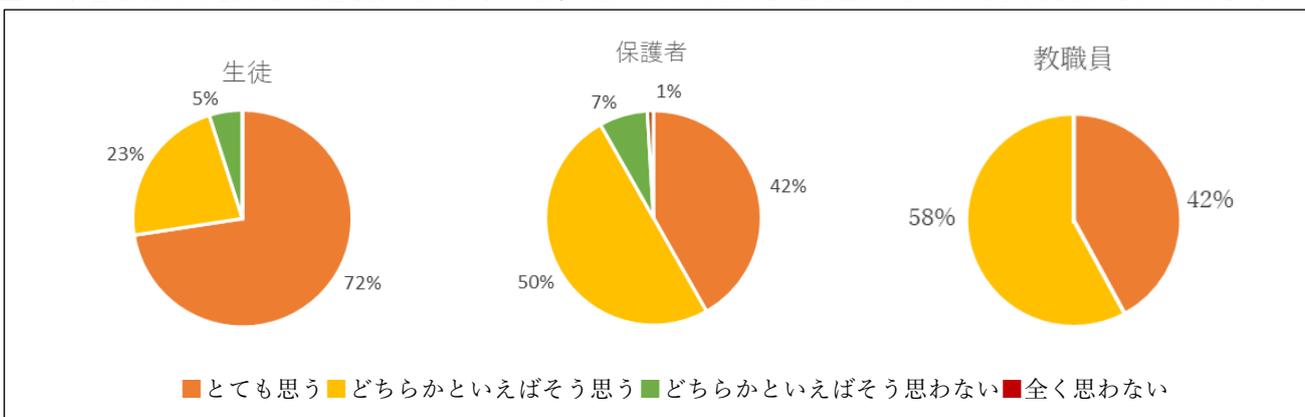
11 学校は、安全かつ清潔な環境づくりに努めている。

（教職員：校内の危険箇所を共有したり、環境美化に積極的に取り組んだりしている）



生徒・保護者の肯定的回答は昨年度と同様に高く、環境づくりの取組はおおむね理解されている。一方で、否定的回答が少数あることは、校舎の老朽化や自然環境に伴う課題を示唆している。今後も、生徒の安全安心を確保するため、故障や危険箇所への早期対応に努めるとともに、環境美化を学校全体で継続的かつ計画的に進めていく。

12 部活動は、充実した活動になっている。（教職員：充実した活動になるよう試行錯誤し、実践している）



生徒・保護者の肯定的回答は昨年度よりわずかに増え、部活動の充実が一定程度保たれている。一方で、全国的に部活動が縮小傾向にある時代背景は、本校の活動にも影響を及ぼしつつある。今後も、生徒が限られた環境の中でも意欲と目標をもって取り組めるよう、活動時間や内容の工夫を重ね、より良い体制づくりを着実に図っていく。

【結果と考察】

- ・ 生徒・保護者・教職員の回答に大きな差がなく、肯定的割合が高かった項目は、学校生活の基盤となる〈安心感〉〈学習意欲〉〈人間関係〉〈学校理解〉というキーワードで整理できる。三者が共通して高く評価していることから、日々の学級経営や授業改善、行事・体験活動など、学校全体の取組が安定して機能していることがうかがえる。
一方で、これらの基盤が整っているからこそ、今後は「主体的な学び」や「将来を見据えた自己理解」など、より深い学びにつながる活動の充実が求められる。基盤の強みを生かしつつ、次の段階の成長を支える教育活動へつなげていくことが重要である。
- ・ 設問2・3・9・11では、「とても思う」の割合に三者で違いが見られた。交通安全、タブレットの活用、教師の公平な評価や個別の声がけ、安全で清潔な環境づくりといった項目は、生徒・保護者・教職員がそれぞれ異なる立場で状況を捉えており、その多様な視点が回答の幅として表れたと言える。生徒は日常の体験を元実感として評価し、保護者は家庭から見える子どもの様子を基準に判断する。一方、教職員は学校全体の取組や日々の実践を踏まえて回答するため、肯定的な評価が安定して示される傾向がある。このような視点の違いは、学校の取組を丁寧に共有し、三者が共通理解を深めていくための手がかりとなる。
今後は、学校の実践や子どもの成長の姿を伝える機会をさらに充実させていくことが求められる。
- ・ 設問4・5は、保護者と教職員の肯定的回答が上昇し、家庭学習やキャリア教育の取組がより共有されていることが分かる。設問6・7では、生徒や教職員の否定的回答が増え、体験活動の質や相談体制の充実が課題として示された。設問10は、生徒の肯定的回答が増加し、学級づくりの取組が一定の成果を上げていると考えられる。これらの変化を踏まえ、学校と家庭が連携し、改善を進めることが重要となる。

【改善策（今後の取組）】

- ・ アンケート下段の自由記述からは、生徒・保護者・教職員それぞれの率直な思いが伝わってきた。生徒は、普段は言葉にしにくい気持ちや「～してほしい」という願い、「～していきたい」という前向きな意志を記しており、こうした声を大切に受け止め、家庭と学校がより連携を深めながら、一人一人の成長を支えていく必要がある。
保護者からは、学校への感謝とともに具体的な要望も寄せられた。学年だよりやメール、ホームページなどによる情報発信を継続しつつ、懇談の機会や日常の声がけを通して、双方向のコミュニケーションをさらに充実させていく。
教職員は、結果や自由記述を真摯に受け止め、授業や指導の工夫を重ねながら、生徒・保護者に寄り添う姿勢を大切にし、教育活動を推進していく。
- ・ 家庭環境や生徒の状況が一層多様化し、学校が向き合う課題も複雑さを増している。これまで培ってきた教育の強みを生かしつつ、立田中学校らしい温かな学びの文化を守りながら、柔軟に対応していきたい。そのためにも、教職員が無理なく力を発揮できるよう働き方を見直し、生徒や保護者と向き合う時間を確保することが重要となる。学校は、日々の教育活動を継続的に支えられる体制を構築し、誰もが安心して関われる環境を整えながら、地域とともに生徒の成長を支えていく。